令和6年（2024年）度行政評価シート

令和6年6月21日

評価者	市民防災部長 永野英樹
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-②商工業振興の充実
目標とするまちの姿	<p>中小企業の経営革新や経営基盤の強化が図られるとともに、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等により、産業が活性化し、雇用の創出が図られています。</p> <p>また、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成が図られています。</p>			
主な取組	<p>(1) 地域の特性を生かした商店街の活性化 商店街が「物販・サービスの場」としてだけでなく、「まちの顔」、「地域コミュニティの場」として賑わうよう、地域の特性を生かした商店街づくりを支援します。</p> <p>(2) 中小企業の支援 事業者や商工団体との連携を強化するとともに、経営相談や融資・補助制度の充実、受注機会の拡大を図ることで、中小企業の創業、経営安定、事業拡大、経営革新を支援します。</p> <p>(3) 新たな産業の誘致等による雇用の創出やイノベーションの誘発 市内企業の事業拡大を支援するとともに、深沢地域整備事業や低未利用地の公的不動産の活用を中心に新規成長産業をはじめとする企業の誘致や、コワーキングスペース等の整備によるテレワーク環境の充実により、市内での雇用の創出やイノベーションの誘発を図ります。</p> <p>(4) 伝統工芸の伝承及び事業活動の支援 市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成を目的とした事業活動や、販売促進に向けた支援を行います。</p>			

1. 前年度（評価対象年度）の当該施策の目標

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向け、商工業振興計画（働くまち推進計画）に基づき、各種制度の再構築を行いながら、引き続き中小企業等に対しては、中小企業融資制度、各種補助制度などにより支援し、商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などにより、支援を行うとともに、企業立地等促進条例などの支援策により、企業誘致に取り組む。

また、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫については、講習会や体験教室などの支援や、販路拡大への支援を引き続き行っていくとともに、伝統的工芸品産業振興協会との連携を図り、また新たな購買層への働きかけを行うため、鎌倉彫リーフレットのリニューアルを行う。

これらの取組を行いながら計画のKPIに基づき進行管理を行うことにより、中小企業の経営革新や経営基盤の強化、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等による産業の活性化及び雇用の創出を目指すとともに、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成を図っていく。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,679,990	362,067	620,364	358,122		
人件費	40,132	37,500	36,022	35,542		
総事業費	1,720,122	399,567	656,386	393,664	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-18	商工運営事業		638	1,519	2,157	現状維持	A	現状維持
	市民-19	中小企業支援事業		310,152	8,197	318,349	現状維持	A	現状維持
	市民-20	商工会議所助成事業		14,667	760	15,427	現状維持	A	現状維持
	市民-21	商店街振興事業		14,229	6,836	21,065	現状維持	A	現状維持
重	市民-22	商工業振興事業		10,997	14,432	25,429	現状維持	A	現状維持
	市民-23	公衆浴場助成事業		2,345	1,519	3,864	現状維持	A	現状維持
	市民-24	伝統鎌倉彫振興事業		5,094	2,279	7,373	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

市民防災部

<p>商工業振興計画推進委員会を開催し、商工業振興計画(働くまち推進計画)に基づきKPIに対する進行管理を行った。</p> <p>中小企業融資制度、各種補助制度などにより中小企業への支援を行った。</p> <p>なお、補助制度のうち、経営基盤強化、企業立地の際の事業所整備に係る補助制度については、制度改正を行い、補助メニューや補助対象者の拡充を行った。</p> <p>商店街に対しては、商店街の街路灯等維持管理費補助金の補助率を上げるとともに、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などによる支援を行った。</p> <p>鎌倉彫については、講習会や体験教室などの実施に係る支援や販路拡大支援に加え、観光客向け動画作成に係る支援を行うとともに、鎌倉彫PR動画の作成、鎌倉彫リーフレットの刷新、伝統的工芸品産業振興協会との連携を図るなど、事業活動を支援した。</p> <p>また、国費を活用し、公衆浴場の電気料金・ガス料金の負担軽減のため、神奈川県補助事業にあわせて補助を行った。</p> <p>※実施できなかった事業とその理由 なし</p>

※ 前年度外部評価における提言・質問に対する回答

提言・質問	回答
鎌倉市の商業対策ビジョン、目指す姿が見えない。商店街などの維持、新たな産業創出、伝統工芸の普及など、これまで総花的に描かれてきたが、注力すべきポイントを定めるべきである。	→ 商工業振興計画の策定に当たり、職住近接によりワーク・ライフ・バランスを整えられる「働くまち」を目指すことをビジョンとして掲げた。
補助金による支援やアドバイザー派遣、コンサルを使った分析などの取組自体に反対はないが、商店街へのアドバイザー派遣等を行うのであれば、踏み込んだ話し合いやアドバイスを行うべきである。実施した支援については、結果と合わせて報告をすべきである。	→ 商店街アドバイザー派遣は、年度内3回を限度にきめ細かなアドバイスが行われ、その内容はアドバイザーから直接報告を受けており、課題を共有している。
職住近接のまちづくりを進めるために、新たな産業を誘致するにしても、起業するための物理的なスペースが不足しており、また若年ファミリー層を誘致するにも不動産価格が高い。それらの課題解決のための取組を同時に進めるべきである。	→ 企業立地整備費等補助金において、物件のリフォームや賃料補助を行っており、市内に事業所又はサテライトオフィスを整備する際のスペースの確保に対し支援している。
新たな産業誘致策として、深沢地域整備事業用地を対象に適用業種の枠を拡大するため、企業立地等促進条例を改正したが、「深沢地域整備事業」自体がまだ市民に馴染んでいないため、鎌倉市全体に対する整備事業自体の目的及び効果を説明するべきである。	→ 整備事業自体の目的及び効果の周知については、深沢地域整備課が中心となって取り組んでいる。企業誘致の場面では必要に応じて連携していく。

※ 前年度外部評価における提言・質問に対する回答

提言・質問	回答
<p>コロナ禍で拡大したテレワークに対して、場を提供するにとどまらず、そこを活用した新たな産業創出に一步踏み込んだ議論とその実施を行い、更なる鎌倉の新産業を確立する努力をするべきである。</p>	<p>→ 商工業元気アップ事業において、創業者又は創業間もない方が鎌倉の特性を生かした新たな事業プランの実施に対し補助している。令和5年度から市内の起業家のすそ野を広げることで、市内に新たな起業家の創出を図るため、「起業家スタートアップ支援プログラム」を実施した。</p>
<p>「HATSU鎌倉」が今年度から新しい取組になるということで、来年度にいろいろな試みの報告があることを期待したい。鎌倉彫にも言えるが、若い世代の意見やアイデアを取り入れながら、新しいことを取り入れていくべきである。</p>	<p>→ 若い世代の意見やアイデアについては、市民意識調査や各種アンケート調査などを通じて、聴取に努めていく。</p>
<p>鎌倉彫の技術の伝承や後継者の育成については大きな課題であり、伝統鎌倉彫事業協同組合と連携し、体験、研修、表彰などの施策を通じて技能職者の地位向上を図ることで、既存の労働環境の保護を図っていくべきである。</p>	<p>→ ご意見のとおり、伝統鎌倉彫事業協同組合との連携を深めるとともに、同組合とともに加入している伝統的工芸品産業振興協会とも連携しながら、技能職者の地位向上を図っていく。</p>
<p>鎌倉彫の支援事業は毎年内容が代り映えがない上、販路についても商品開発についても特段の進化が見られない。毎年お馴染みの支援、という印象である。もっと先進的な方針や革新を打ち出さないと、支援が無駄なまま廃れていく。自治体・生産者双方でもっともって努力するべきである。</p>	<p>→ 組合によるPR動画の作成や鎌倉彫リーフレットの刷新により、これまでに以上に鎌倉彫の周知を図るとともに、伝統的工芸品産業振興協会との連携も含め、新たな取り組みを行っていく。</p>
<p>伝統工芸の伝承、事業活動の支援として、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成目的は重点的に捉えられているが、これ以外の伝統と関連性をもったもの新たな掘り起こしや、鎌倉の歴史・伝統に関連のある工芸技術(例えば政宗工芸刀剣、鍛冶、甲冑、大鎧などの中世のワザ)の再生などを探るべきである。</p>	<p>→ ご指摘の刀剣や鍛冶等については、組合として組織されておらず、個別の職種としての支援になるが、古くから培われてきた技術でもあり、他市事例等も参考に研究したい。</p>
<p>経済センサス活動調査の数値は、今後も把握していくべきだが、5年に1回の数値を成果指標として捉えることは指標としてなじまないことから、新たな商工業振興計画においては別のKPIを立てて評価していくべきである。</p>	<p>→ ご意見のとおり状況のため、商工業振興計画においては、経済センサス活動調査の数値はKPIには設定せず、市民意識調査の結果等を活用し、評価していく。</p>
<p>補助金をはじめとした支援事業について、どのように店舗や商店街、中小企業の活性化に効果があったのかが、評価書を見る限りではわからなかったため、その点については必ず言及すべきである。</p>	<p>→ 個別事業ごとの評価については、行政評価シート個票において言及している。今後は、商工業振興計画に新たに設けるKPIをもとに事業の成果を見ていく。</p>
<p>「中小企業の経営革新や経営基盤の強化」について、わかりやすく目に見えてわかる事例や情報はるか。取り組み事例やその結果(効果)を知りたい。</p>	<p>→ 産業財産権取得事業において特許出願に係る経費や展示会出展事業において出店経費の一部を補助することで、権利保護や販路拡大支援を行っている。</p>
<p>市内唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫について、具体的に「鎌倉彫コンペティションの開催」などにより、どのような成果がでているのか。</p>	<p>→ 鎌倉彫コンペティションについては、令和5年3月18日～21日に実施し、出品点数241点、来場者数1,107名であった。また、その他体験教室や小学校の卒業制作など行う中で、鎌倉彫の周知・啓発に一定の効果があったと考えている。</p>
<p>鎌倉彫に関しては、産業振興からの視点で事業支援を行っているが、文化継承といった視点で支援を行っていない理由を知りたい。</p>	<p>→ 文化継承のためには、後継者の育成や確保が必要だが、職人からは経済的に困難であるという話を聞いている。そのため、鎌倉彫出荷額増額を目指すことが鎌倉彫振興になるとともに、後継者の育成や確保につながると考え、事業支援を行っている。</p>

5. 成果指標

成果指標①		市内事業所における従業者数 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	経済センサス活動調査	
初期値	平成28年	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	68,800	目標値	69,000	69,200	69,400	69,600	69,800	70,000	人	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査確報値
		実績値	未実施	67,396	未実施	未実施				
		達成率	—	97.4%	—	—			%	
成果指標②		市内の事業所数 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	経済センサス活動調査	
初期値	平成28年	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	7,226	目標値	7,250	7,270	7,290	7,310	7,330	7,350	事業所	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査確報値
		実績値	未実施	7,137	未実施	未実施				
		達成率	—	98.2%	—	—			%	
成果指標③		身近な商店街において、便利で魅力的な買い物ができると思う市民の割合						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	49.1	目標値	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	%	
		実績値	未実施	53.0	57.4	55.9				
		達成率	—	103.9%	110.4%	105.5%			%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民防災部

成果指標①及び②については、平成28年経済センサス活動調査の結果をもとに初期値を設定し、そこからの推計を指標としているが、活動調査は5年に1度の調査であり、毎年の成果指標としては実績の確認が難しいが、令和4年度に策定した鎌倉市商工業振興計画(働くまち推進計画)に基づき、次回調査までに従業者数及び事業所数が目標値に到達するよう取り組んでいく。

成果指標③については、商店街団体の努力により商店街の魅力アップが図られていることから、引き続き団体の存続や実施事業に対し支援していく。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

市民防災部

商工運営事業では、商工業振興計画(働くまち推進計画)の進行管理を行うため、審議会を開催し、進捗状況の評価を行ったうえで、今後の方針を確認した。また、姉妹都市物産展を開催し、姉妹都市交流に貢献したことから、施策の方針を達成できた。

中小企業支援事業では、中小企業への融資及び補助事業を実施することができ、施策の方針を達成できた。

商工会議所助成事業及び商店街振興事業では、各団体への補助事業により、商店街の活性化イベントや商店街団体が設置する共同施設への補助などの支援を実施することができ、施策の方針を達成できた。また、商店街の共同施設設置への補助については、補助率や補助対象事業の拡充・他制度との統合に向け、取り組んだ。

商工業振興事業では、市内事業者の設備投資に対する減税措置や、制度改正を行い、企業の事業所・サテライトオフィス整備や産業財産権の取得や展示会出展、デジタル化や広報・マーケティング等による経営基盤強化の取り組みへの補助を行った。また商工業元気アップ事業による創業者の事業プラン認定による補助や伴走支援、「起業家スタートアップ支援プログラム」の実施による創業予定者への知識やノウハウの提供など、各種支援策を実施することができ、施策の方針を達成できた。

公衆浴場助成事業では、設備の改修工事への補助を行うとともに、燃料費高騰の影響により、神奈川県が実施した補助制度にあわせ市内公衆浴場を支援した。

伝統鎌倉彫振興事業では、鎌倉彫出荷額は減少傾向にあるものの、認知度向上・販路拡大のための民間企業との連携や、鎌倉彫リーフレットの刷新及び動画作成に取り組み、改善に向け取り組んだ。

8. 今後の方向性

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向け、策定した商工業振興計画(働くまち推進計画)に基づき、既存事業の推進・見直し等行う中で、引き続き中小企業等に対しては、中小企業融資制度、各種補助制度などにより支援し、商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などにより、支援を行っていく。

また、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫については、講習会や体験教室などの支援や、販路拡大への支援を行っていくとともに、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会との連携も深めながら、支援を行っていく。

これらにより、中小企業の経営革新や経営基盤の強化、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等による産業の活性化及び雇用の創出を目指すとともに、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成を図っていく。

9. 今年度(評価年度)の目標

市民防災部

引き続き各種支援を行うとともに、市内の状況及び国県の動向を注視しながら、現行制度の見直しに取り組んでいく。

また、鎌倉彫の振興のため、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の事業の活用を目指し、伝統鎌倉彫事業協同組合と協議のうえ連携を図っていくとともに、鎌倉彫振興事業所のLED化など、拠点の整備にも取り組む。